

議会と語ろう会 意見交換のご意見・ご提言への対応

開催日時：令和6年2月3日（土） 午前10時～午前11時58分

開催場所：津幡地域交流センター ホール1・2

出席議員：八十嶋、竹内、池野、柴田、東、中島、小倉、小町、西村、酒井、塩谷、多賀、向、道下、
谷口、河上

参加者数：22人

意見交換のテーマ：「防災」、「定住促進」、「子育て支援」、「高齢化対策」、「その他」

1. 防災について

ご意見・ご提言	対応	備考
避難所の数の見直しなど防災に対する意識をもっと高めるべきである。	C	
空き家で不安定なものは早期に壊すなどの対策が必要である。	A	津幡町空家等の適正管理に関する条例に則り対策を講じている
町として災害をどの程度想定しているのか分からない。	A	津幡町地域防災計画が作成されており、必要に応じた改訂もなされている
今回の大津波警報では、どこへ避難していいのかわからなかった。	B	津波ハザードマップ等の周知を含めた情報発信が必要
避難防災訓練が今回の地震で生かされていない。備蓄品も届かず困った。 防災訓練の内容が、実際の災害の状況と合っていないのではないか。 訓練がイベントにならないようにしてほしい。	B	訓練のための訓練(形骸化)になっていないか。今回の大地震を教訓とすべき
インフラ問題として断水に苦労した。	D	
避難所の鍵を誰が管理しているのかわからなかった。	B	
情報が入らない、情報に辿り着けない。	B	情報弱者への配慮が必要
水と電気を確保してほしい。	D	
住民としてできることのマニュアルがあったらよい。	C	
生活再建支援補助金の一部損壊の場合、近隣自治体に比べて津幡町の金額が低い。	D	
避難所にペットを同伴できる体制を取れないか。	C	原則、同伴可能であるが、周知徹底が大切
避難所の責任者が不在で統制が取れなかった。	C	
八反田川、総門川の水害対策を考えてほしい。	A	町は7月豪雨の検証を進めており、議会としても結果報告を求める
災害専任の危機管理対策室を設けたらどうか。	B	

A：実施済み・実施予定 B：町へ伝えます C：参考意見としました D：その他

2. 定住促進について

ご意見・ご提言	対応	備考
企業誘致と住宅をセットで。 工場の誘致、飲食店の誘致をもっとしてほしい。	B	
過疎地域には、ひとつの建物に小学校、公民館、その他いろいろな施設をまとめるようなコンパクトビレッジ構想はどうか。	C	
空き家の有効活用も検討するべきである。 空き家の対策、災害対応として住宅に利用できたらいい。	C	
将来ビジョンが明確でなく、定住促進施策について周知もなされておらず施策内容も不十分。	D	町総合計画で将来ビジョンを明示されている。定住促進策、効果を注視する
津幡町の魅力を発信できていない。	C	
転入時の助成金の周知方法等、若い人をもっと迎え入れるための工夫が必要である。	B	情報発信の強化、効果的な手法につき検討を求める
近隣自治体より水道料金、地価が高い。	D	
生活支援金の金額を見直すべきである。	C	
助成金をもっと上げてはどうか。	C	
かほく市との助成金の違いをどうとらえているのか。	D	
若者世代への給付を増やせばよい。	C	
企業誘致だけでなく高齢化対策も含めて考えてほしい。	C	
中山間地の過疎化対策をしてほしい。	B	

A：実施済み・実施予定 B：町へ伝えます C：参考意見としました D：その他

3. 子育て支援について

ご意見・ご提言	対応	備考
かほく市にある天候に関係なく使用できる施設を参考にすべきである。 子どもの遊ぶ場所が減っており、公園遊具も増やして欲しい。ふわふわドームなど人気の遊具を中条公園などにも設置したらどうか。	C	
もっと手厚く支援してほしい。	D	
小児科が少ない。	D	
子ども見守り隊に少しでも補助金を出した方が良い。	C	
子育て世代のコミュニティの場が少なく交流の場を作るべきである。	C	
結婚推進に力を入れるべきである。	C	
保育所の充実等、お母さんが働きやすくなるのは定住促進にもつながる。	C	

ご意見・ご提言	対応	備考
義務教育の無償化。	C	
保育園は2人目から無償化にする。	C	
子育て中の母親の困りごとを町政に反映してほしい。	C	

A：実施済み・実施予定 B：町へ伝えます C：参考意見としました D：その他

4. 高齢化対策について

ご意見・ご提言	対応	備考
シルバー世代が地域で仲間づくりをするためにも場所づくりが大切である。	C	
最近の高齢者はニーズが多様化しており、もう少しいろいろと考えるべきである。	C	
子どもとシニアの方が一緒に施設で時間を過ごす富山型デイサービスも有効である。 高齢者の生きがいづくりとして小中学生との交流の場を増やす。	C	
隣近所がわからないなど日頃からのコミュニティ力が不足している。	D	
国民健康保険については、津幡町は将来高くないようにしてほしい。	C	
デイサービスのサービスについての情報が欲しい。	C	
高齢者施設を増やした方がよい。入所費用を安くしてほしい。	C	
お風呂券を増やしてほしい。	C	
中山間地の買い物支援すべきである。	C	
ゲートボール場などが少なくなり使いにくい。	D	
共同体意識を強化すべきである。	D	
元気なお年寄りを増やす。心、体、コミュニケーションという観点の対策が必要である。	D	
移動手段がなく買い物が不便な方でもタブレット端末を活用して買い物支援に役立てる。	C	
生活の利便性の確保として、のるーと津幡の周知を十分に行う。	C	
高齢者も情報を掴めるよう自ら学ぶ。	D	

A：実施済み・実施予定 B：町へ伝えます C：参考意見としました D：その他

5. その他

ご意見・ご提言	対応	備考
除雪の問題。自宅からの出入りに支障が出ている。除雪車が除雪した後の雪の集積場所を工夫してほしい。	C	
観光予算が少ない。	C	
行政の窓口をもう少しシンプルにしてほしい。	C	
町の未来ビジョンが見えない。	D	町総合計画で未来ビジョンが明示されている。
水道料金が高い。	D	
住民の意見の受け皿がどこなのかははっきりしない。	D	
民間が撤退した後の大きな空き地をどうするか。	D	
津幡町のホームページ、LINE、メールで情報発信しても辿り着けない方がいる。	B	情報弱者への配慮が必要
河北中央病院の移設の場所。	D	
不審者対策をしてほしい。	C	
大河ドラマの誘致は難しい。見直しが必要である。新駅も見直したらどうか。	C	
議会と語ろう会の意見交換の進め方に対して、テーマを事前に考えておくように配慮してほしい。	A	次回の開催から事前にテーマを周知するよう改善する
校区の見直し。	C	

A：実施済み・実施予定 B：町へ伝えます C：参考意見としました D：その他